

## 1. 寄付金・義援金受け入れの経緯等

東日本大震災は多くの尊い人命を奪い、多くの人々を被災させましたが、「物言わぬもう一方の被災者」となった文化財も甚大な被害を被りました。

震災直後に、近藤文化庁長官から当財団宮田理事長に協力要請があり、当財団は被災文化財の救援と修復に関する寄付金・義援金の窓口となりました。併せて、文化財の保護、保存修復活動は当財団の活動目的そのものであり、当財団でもいち早くホームページで宮田理事長名による寄付金・義援金の呼びかけを開始しました。

なお、この度の東日本大震災は日本国内のみならず世界の人々にも大きな衝撃を与え、世界各地から御見舞いと支援の手が差しのべられています。被災文化財の救援と修復に関しても少なからず関心が寄せられています。当財団はこれらの支援に対する提案に感謝し積極的に連携をとり、少しでも多くの寄付金・義援金を確保して被災文化財の救援と修復のために支援したいと取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、日本サムスン株式会社と連携して今後5年間に渡り、同社からの支援を受け被災文化財の修復支援事業に取り組むこととなり、平成23年9月8日に記者発表を行いました。

さらに、文化庁の協力を得てワールドモノUMENT財団（本部ニューヨーク）とも連携して、国内外からも寄付金・義援金を集め修復支援を行うための「心を救う、文化で救うー Save Our Culture (SOC) ー東日本大震災被災文化財復旧支援事業」を立ち上げ、今後5年間に渡り実施していくこととなり、平成23年11月2日に記者発表を行いました。

## 2. 寄付金・義援金の受け入れ状況

平成23年4月4日から平成24年3月31日までの間において、文化庁長官、当財団理事長及びSOCの呼びかけに応じて、企業、団体及び個人の方々から支援をいただいた寄付金・義援金の受け入れ状況は次のとおりです。

- ・ 受入金額 2億7,499万8,941円(平成24年3月31日現在)
- ・ 件数 544件

## 3. 助成の状況等

平成23年度は、いただきました浄財により被災文化財を安全な場所へ緊急に保全し応急手当を施す「文化財レスキュー事業」のために、「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会」へ次のとおり助成を行いました。

- ・ 平成23年 4月27日  
第1次（第1回）分として500万円助成
  - ・ 平成23年 6月30日  
第1次（第2回）分として500万円助成
  - ・ 平成23年 7月29日  
第2次（第1回）分として500万円助成
  - ・ 平成23年10月11日  
第2次（第2回）分として500万円助成
  - ・ 平成23年11月11日  
第3次（第1回）分として500万円助成
  - ・ 平成23年12月19日  
第3次（第2回）分として500万円助成
  - ・ 平成24年 1月20日  
第4次（第1回）分として500万円助成
  - ・ 平成24年 2月15日  
第4次（第2回）分として500万円助成
- 合計 4,000万円助成

なお、平成24年度以降は、引き続き「文化財レスキュー事業」への助成を行うとともに、本格的な被災文化財修復支援事業を5年間程度に渡り実施して行く予定です。